

水資源再生センターにおける老朽度調査及び耐震診断

1 西部水資源再生センター

(1) 施設用地(赤線枠内)の写真



(2) 施設の老朽度調査

コンクリート構造物の老朽化している状況を把握するための目視調査を行っています。



調査場所	最初沈殿池【流入水路】
調査状況	硫化水素による腐食劣化によりコンクリートの材料が現れて凹凸のある状態

2 千田水資源再生センター

(1) 施設用地(赤線枠内)の写真



(2) コンクリート構造物の耐震診断(非破壊試験)

コンクリート表面に調査器具を押し当て、その反発硬度を測定してコンクリート構造物の劣化度を診断しています。



調査器具:
シュミットハンマー

調査場所	最初沈殿池【建築1F柱部分】
調査内容	コンクリート強度の測定値が設計基準強度を満足しているかどうかを確認します。

(3) コンクリート圧縮強度試験(破壊試験) 調査箇所:ポンプ棟地下2階壁部分

①鉄筋探査機による調査



鉄筋探査機:
電磁派レーダによっ
て鉄筋の配置を確認

②ボーリング機械によるコンクリートの抜き取り作業



ボーリング機械

③抜き取られたコンクリート片の採取

抜き取られたコンクリート片を整形して、コンクリート強度の測定値が設計基準強度を満足しているかどうかを確認します。



コンクリート片

- ④ 抜き取られたコンクリート部分の修復
無収縮モルタルを用いて、抜き取られたコンクリート箇所を閉塞します。

